

I・剣淵町：まちと住まいの現状



1. 剣淵町の概要

(1) 自然特性

[地勢]

剣淵町は北海道の中央部、上川支庁管内の中央よりやや北に位置し、東部は丘陵地帯、中央部は低地帯、西部は山岳地帯となっています。中央部を天塩川の支流・剣淵川が流れ、その流域には農業に適した平地が広がっています。町域は約50%を農耕地、約30%を山林が占めています。

[気候]

内陸性気候に属しており、夏期は比較的高温多照に恵まれますが、晩夏から秋期にかけては曇りの日が多くなります。雨量は春期に少なく秋に多く、冬には雪が多く寒さが厳しい特色をもちます。



(2) 社会特性

①交通

a. 飛行機

東京ー旭川	約1時間40分
東京ー千歳	約1時間30分
名古屋ー旭川	約1時間45分

b. JR

- 千歳ー札幌：約40分
- 札幌ー剣淵：約2時間～約2時間30分
- 旭川ー剣淵：約1時間程度

c. マイカー

■北海道縦貫自動車道（道央道）

札幌インター～和寒インター：約1時間30分
 和寒インター～剣淵：約20分(国道40号)
 (路面状況により、移動時間が異なります。)

■旭川市から 約45分

d. 主な都市から剣淵までの距離

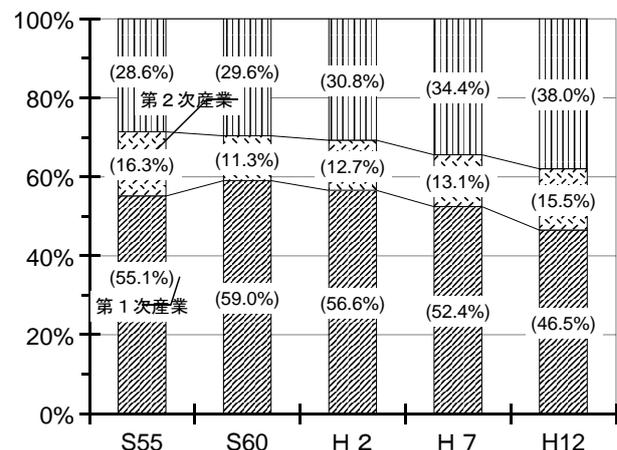
■札幌市	182.0 km
■旭川市	45.2 km
■稚内市	214.2 km
■函館市	468.3 km
■帯広市	225.3 km

②産業

基幹産業は農業です。農業は、馬鈴薯を栽培されたことに始まっていますが、農業基盤の整備により、近年は稲作、畑作、酪農を中心に営まれています。畑作では、寒冷地作物の馬鈴薯、ビート、特定園芸作物の栽培に取り組んでいます。

	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年
第1次産業	1,725	1,728	1,527	1,365	1,075
第2次産業	509	332	342	342	358
第3次産業	895	867	830	896	878

■剣淵町の産業別就業人口の推移



(3) 地域資源

剣淵町は、周辺を丘陵で囲まれた盆地に立地しており、丘の風景・川の風景など、まちの財産とも言うべき四季折々の美しい自然景観に恵まれています。また、基幹産業である農業・畜産業などの営農風景が、まちの景観資源に彩りを与えています。



↑川の風景：剣淵川

丘の風景→

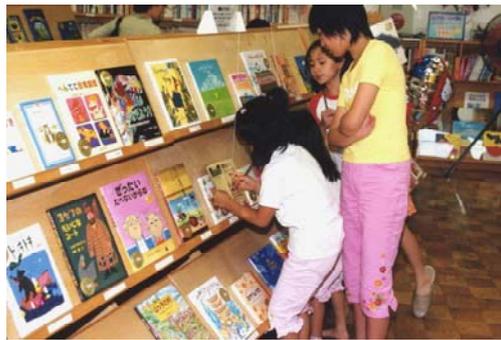


写真：剣淵町ホームページより

(4) まちづくり～絵本の里

近年、剣淵町は絵本の里づくりをテーマに、やさしさとうるおいのあるまちづくりを目指し、施設環境整備や、各種イベントを展開しています。

今では、文化と福祉と農業とが融合した “絵本の里けんぶち” としてのイメージが、定着しています。



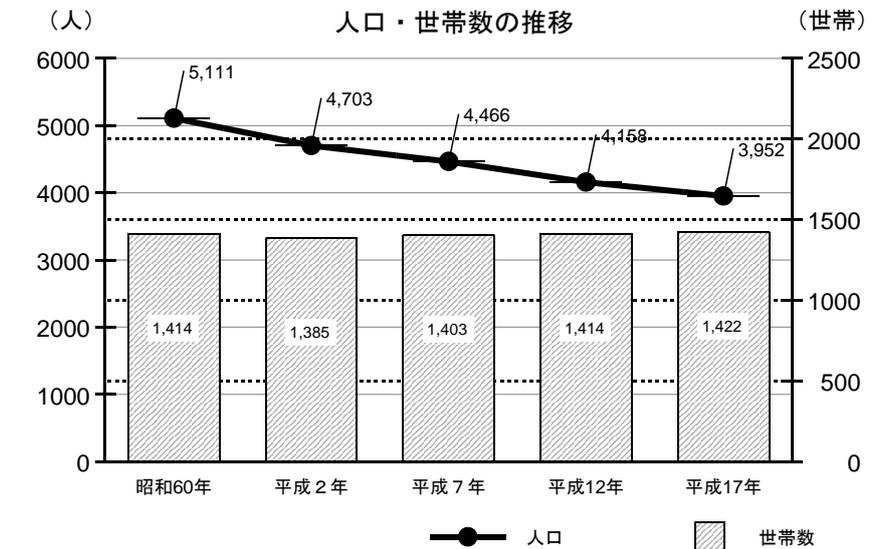
(絵本の館：町ホームページより)

2. 人口と世帯

(1) 人口・世帯数の推移

① 人口と世帯数

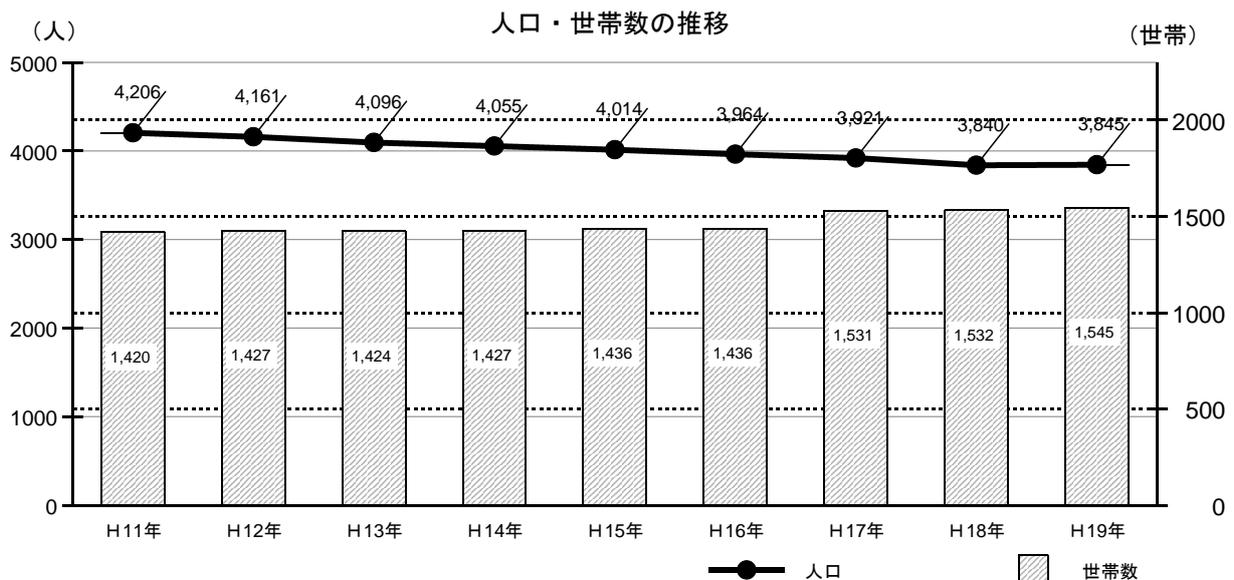
剣淵町でも全道の他の町村と同様、人口は近年一貫して減少傾向にあり、世帯数は世帯の少人数化の影響で近年微増の傾向にあります。



	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人口	5,111	4,703	4,466	4,158	3,952
世帯数	1,414	1,385	1,403	1,414	1,422

(各年国勢調査による)

■参考：住民基本台帳にみる人口・世帯数の推移

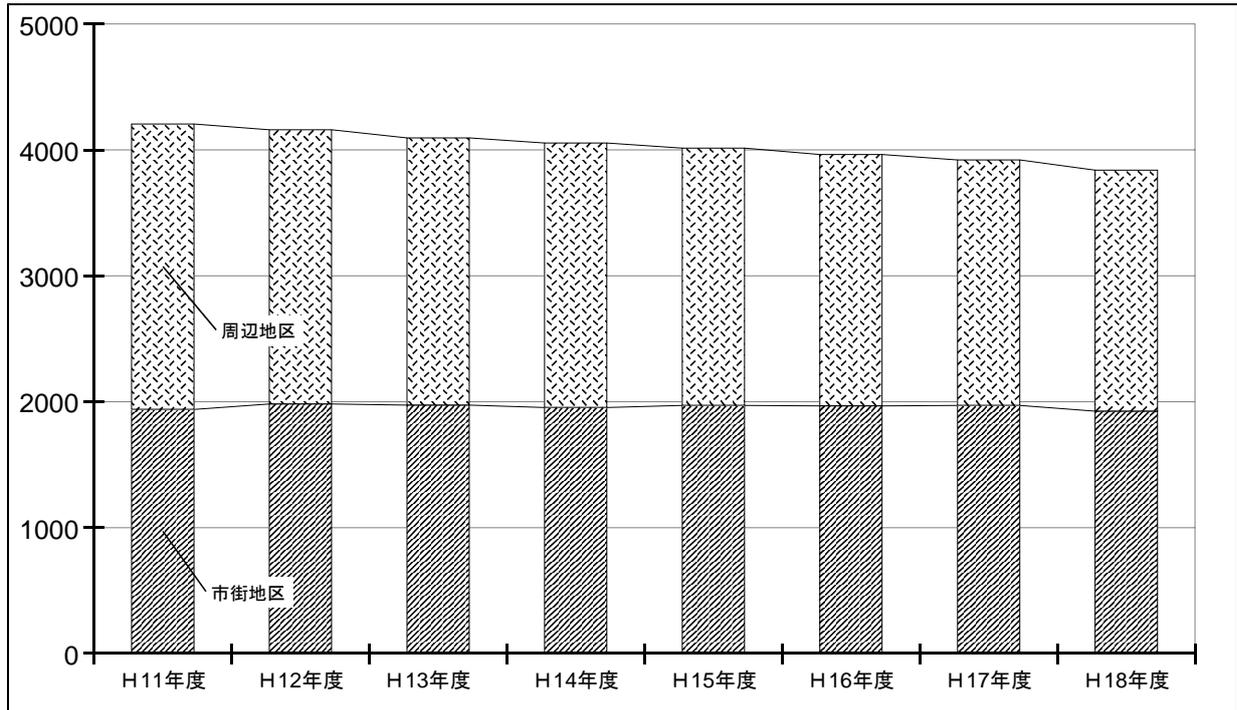


	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年
人口	4,206	4,161	4,096	4,055	4,014	3,964	3,921	3,840	3,845
世帯数	1,420	1,427	1,424	1,427	1,436	1,436	1,531	1,532	1,545

(各年3月末：住民基本台帳による)

※平成17年度の世帯数増は、集計方法の改変に伴う

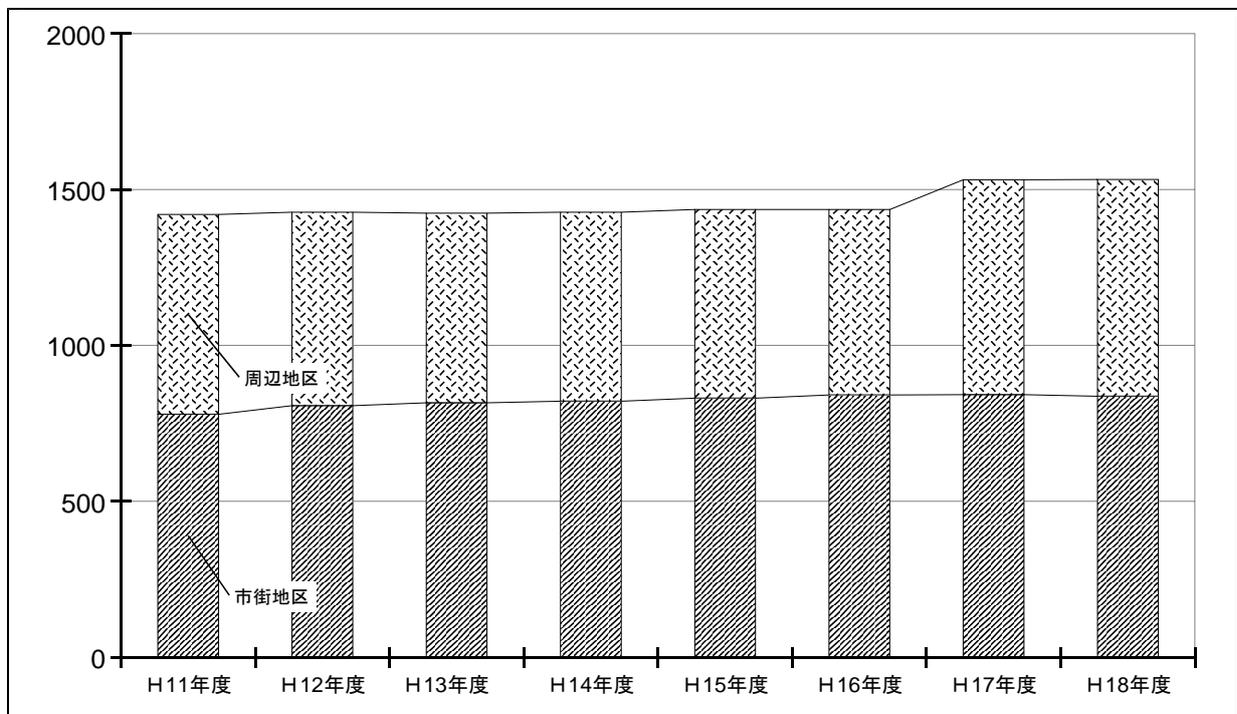
■参考：剣淵町の行政区別人口の推移



	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
市街地区	1,940	1,983	1,973	1,954	1,970	1,967	1,971	1,925
周辺地区	2,266	2,178	2,123	2,101	2,044	1,997	1,950	1,915

(各年度3月末調査)

■参考：剣淵町行政区別世帯数の推移



	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
市街地区	779	807	816	821	831	841	842	837
周辺地区	641	620	608	606	605	595	689	695

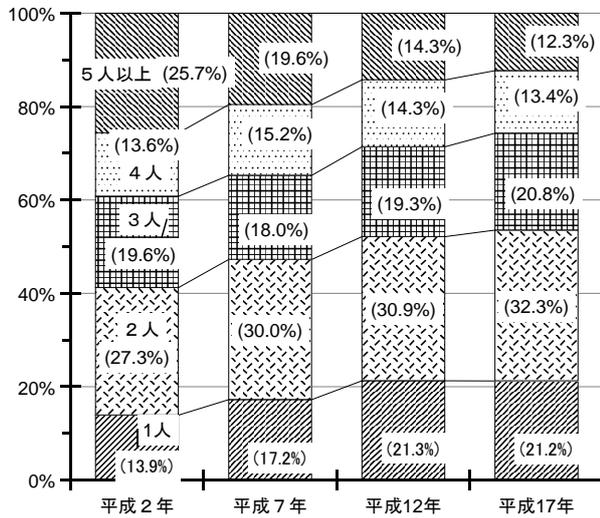
(各年度3月末調査・※市街地区：西町・緑町・仲町・元町)

②世帯の状況

世帯人員は、全道・上川支庁よりは多いものの、小規模化は確実に進んでいます。また、全道に比べて、1人世帯が少ない反面、5人以上の世帯が多いことが特徴です。

■ 剣淵町と北海道の世帯人員別世帯数の推移

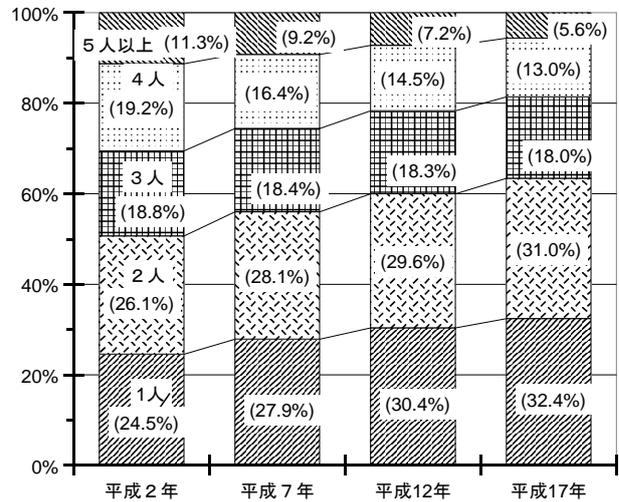
剣淵町



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
1人	192	241	299	285
2人	377	420	434	434
3人	270	252	271	279
4人	187	212	201	180
5人以上	354	274	201	165

(各年国勢調査)

北海道

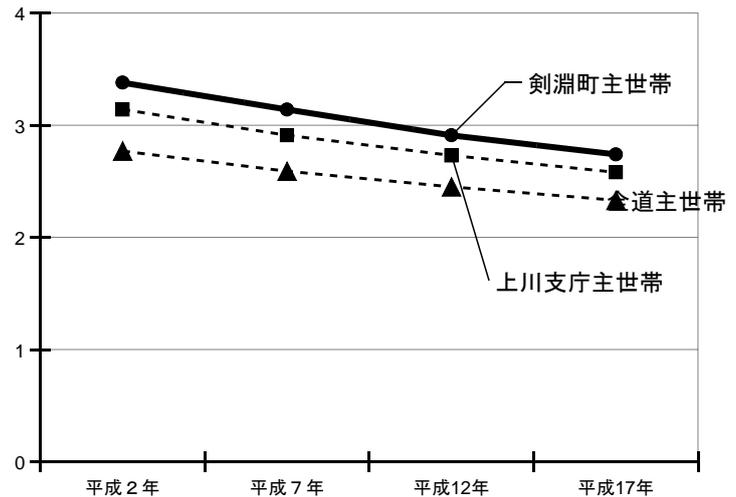


	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
1人	494,791	606,095	691,602	767,626
2人	526,494	611,866	674,981	734,771
3人	379,201	399,716	417,712	425,751
4人	387,397	355,759	329,740	307,375
5人以上	227,392	200,686	163,933	133,369

(各年国勢調査)

■ 1世帯当たり人員の推移

(人/世帯)

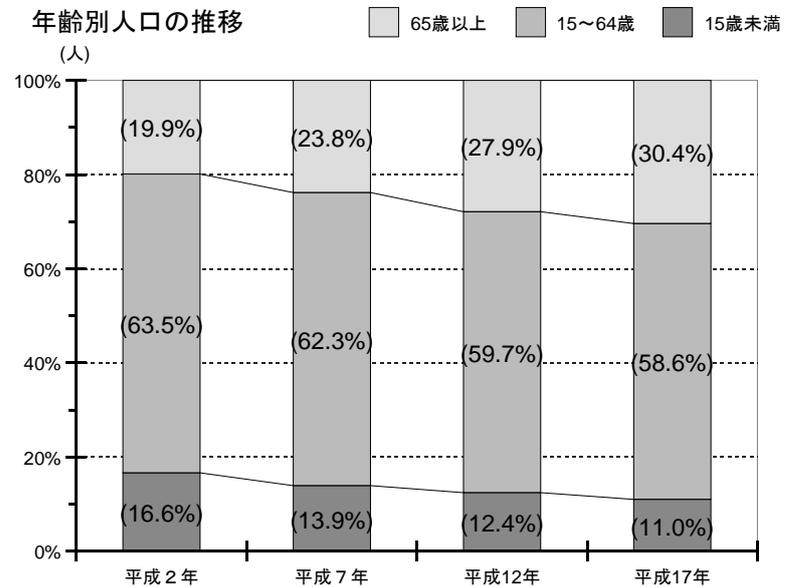


	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
剣淵町主世帯	3.38	3.14	2.91	2.74
上川支庁主世帯	3.14	2.91	2.73	2.58
全道主世帯	2.77	2.59	2.45	2.33

(各年国勢調査)

(2) 年齢別人口の状況

15歳未満人口は率・実数共に減少しています。その一方で、65歳以上の高齢者人口は率・実数共に近年急激に増加しています。



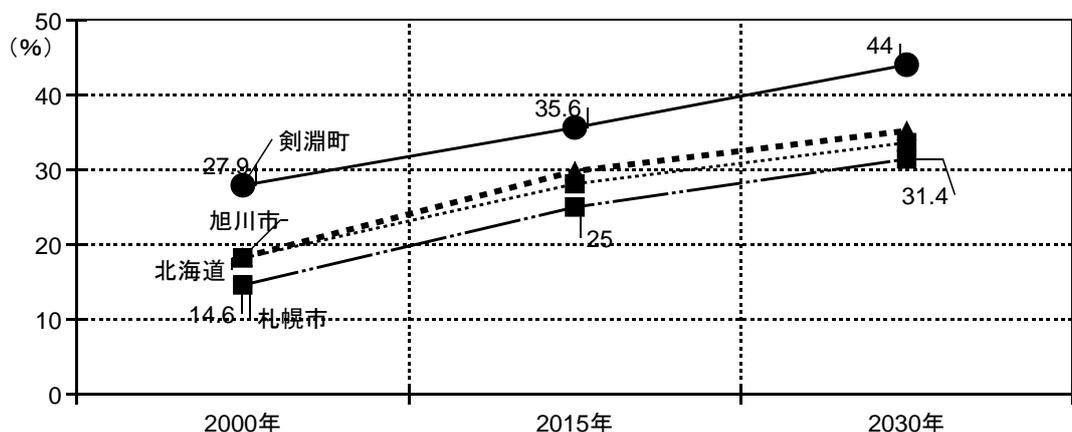
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
15歳未満	780	621	516	434
15～64歳	2,984	2,781	2,481	2,316
65歳以上	934	1,064	1,160	1,202

(各年国勢調査による)

[参考] 年齢別(3区分)人口割合の将来推計(国立社会保障・人口問題研究所)

	年少人口割合			生産人口割合			老年人口割合		
	2000年	2015年	2030年	2000年	2015年	2030年	2000年	2015年	2030年
北海道	14.0	11.6	10.1	67.8	60.3	56.3	18.2	28.1	33.6
札幌市	13.8	11.5	9.9	71.6	63.5	58.6	14.6	25.0	31.4
旭川市	13.5	11.2	9.8	68.1	59.0	55.0	18.3	29.8	35.2
剣淵町	12.4	10.2	8.4	59.7	54.2	47.6	27.9	35.6	44.0

○老齢人口割合の推計～人口問題研究所による

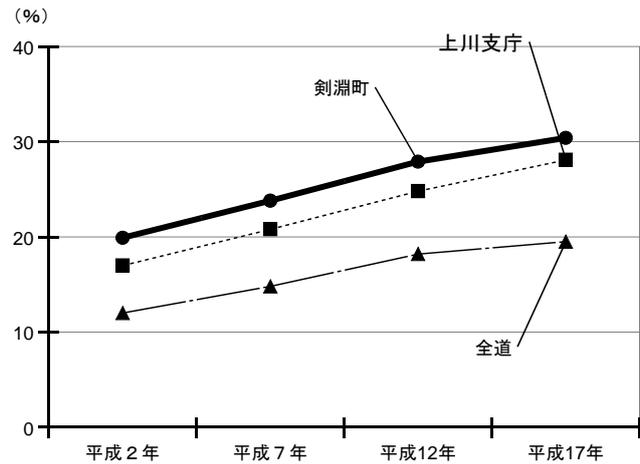


(3) 高齢者の状況

高齢者人口の比率も、高齢者のいる世帯の比率も、全国・全道平均をかなり上回っています。平成17年度の国勢調査では、65歳以上の高齢者の人口比率は全体の3割、高齢者のいる世帯は、全体の5割を越えています。

年齢を重ねても快適に暮らすことのできるまちづくりを国や道のレベル以上に積極的に考える必要があります。

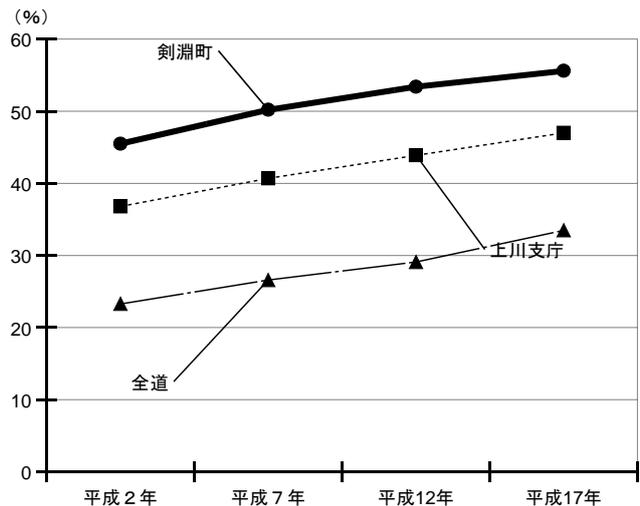
■ 65歳以上人口比率の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
剣淵町	19.9	23.8	27.9	30.4
上川支庁	17.0	20.8	24.8	28.1
全道	12.0	14.8	18.2	19.5

(各年国勢調査)

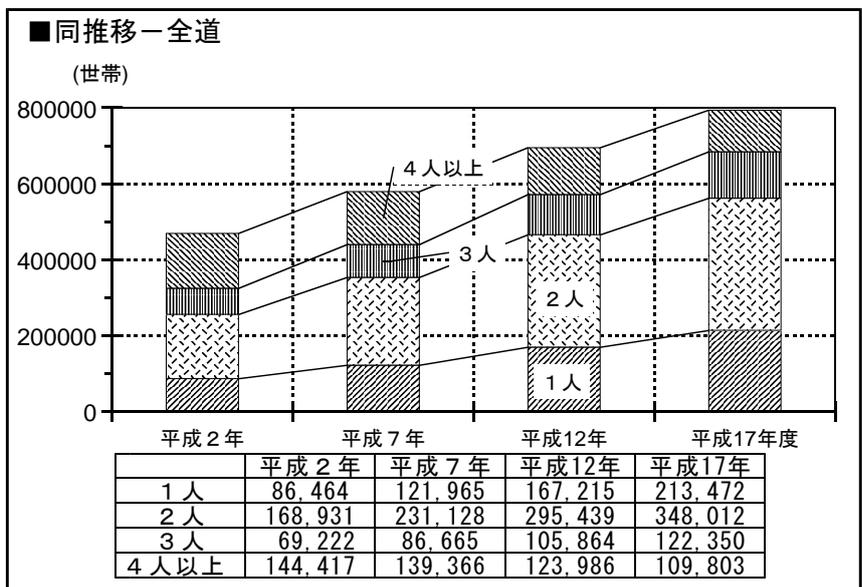
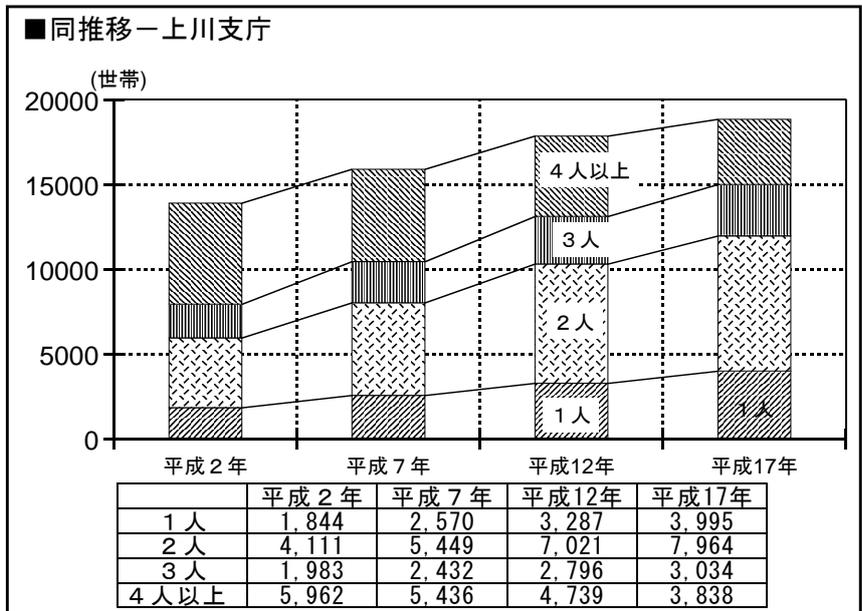
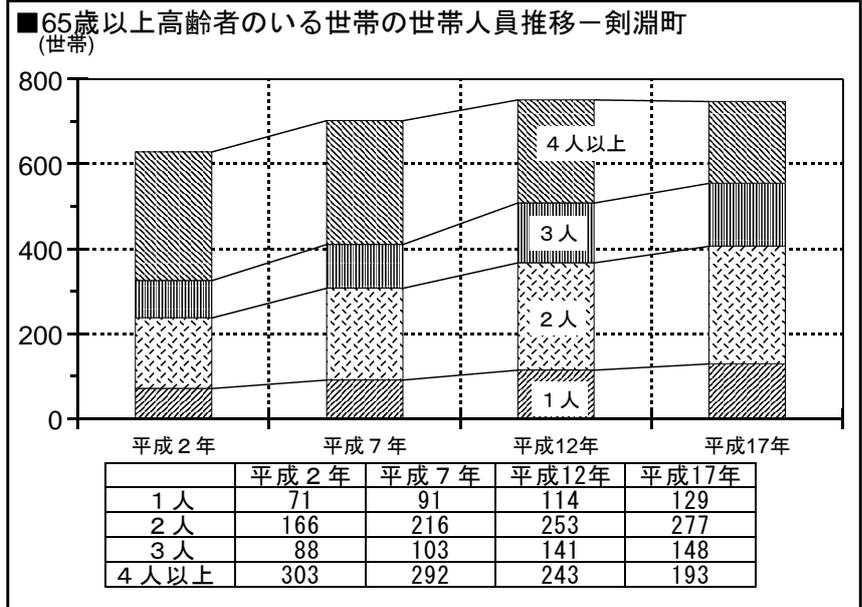
■ 高齢者のいる世帯比率の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
剣淵町	45.5	50.2	53.4	55.6
上川支庁	36.8	40.7	43.9	47.0
全道	23.3	26.6	29.1	33.5

(各年国勢調査)

〈参考：65歳以上高齢者のいる世帯の世帯人員・各年国勢調査による〉



3. 住宅事情

(1) 住宅ストックの状況

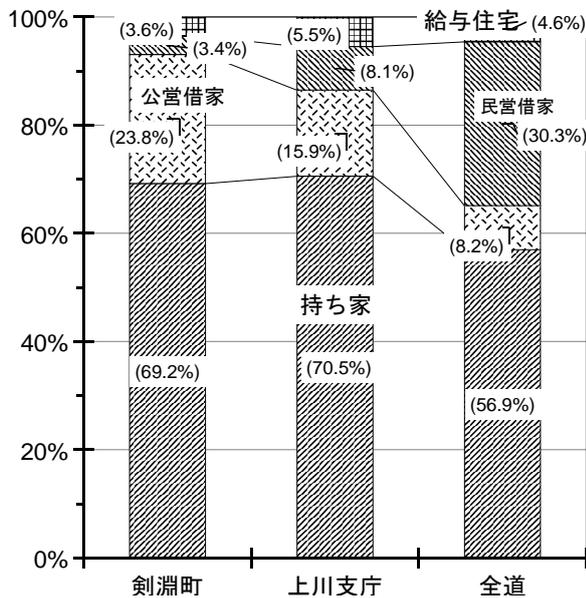
剣淵町の住宅ストックは、全道や上川支庁全体に比べて公営借家の占める割合が高く、民営借家の比率が低いのが特徴的です。平成17年度の国勢調査で見ると、民営借家率は3.4%、公営借家率は23.8%です。

また、近年の民間住宅の建設状況をみると、10年ほど前に比べ、建設戸数が減少してきていることがわかります。

今後、給与住宅の減少が予測されるなか、持ち家層の維持とともに、民間借家と公営借家とが機能を分担しながら借家層の受け皿として機能していく必要があります。

■ 所有関係別世帯構成

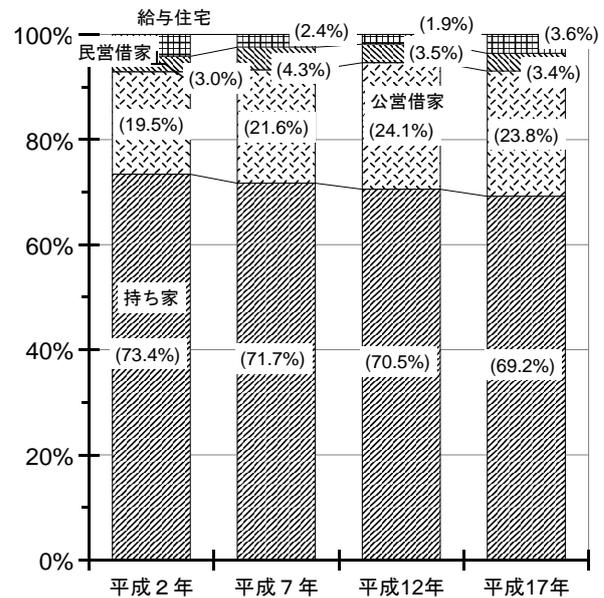
(剣淵町・上川支庁・全道)



	剣淵町	上川支庁	全道
持ち家	923	26,950	1,307,125
公営借家	318	6,082	187,412
民営借家	45	3,081	695,181
給与住宅	48	2,093	105,604
主世帯	1,334	38,206	2,295,322

(平成17年度国勢調査)

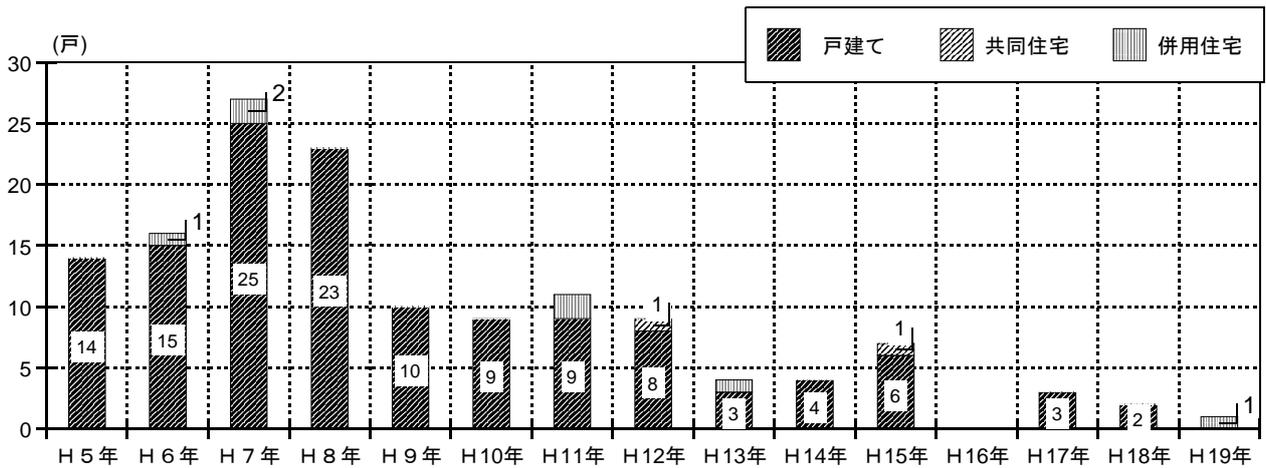
■ 剣淵町の所有関係別世帯構成の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
持ち家	990	971	948	923
公営借家	263	292	324	318
民営借家	40	58	47	45
給与住宅	56	33	25	48

(各年国勢調査)

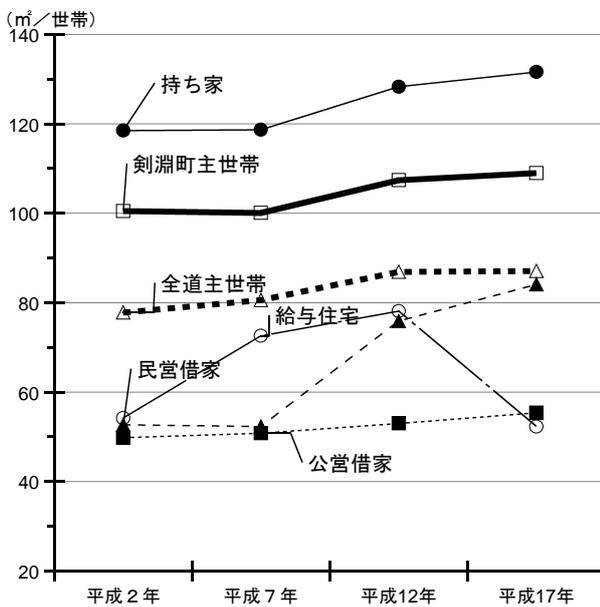
■民間住宅の建設動向（町資料）



	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
戸建住宅	14	15	25	23	10	9	9	8	3	4	6	0	3	2	0
共同住宅	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
併用住宅	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
計	14	16	27	23	10	9	11	9	4	4	7	0	3	2	1

〈資料：国勢調査にみる住宅の質について〉

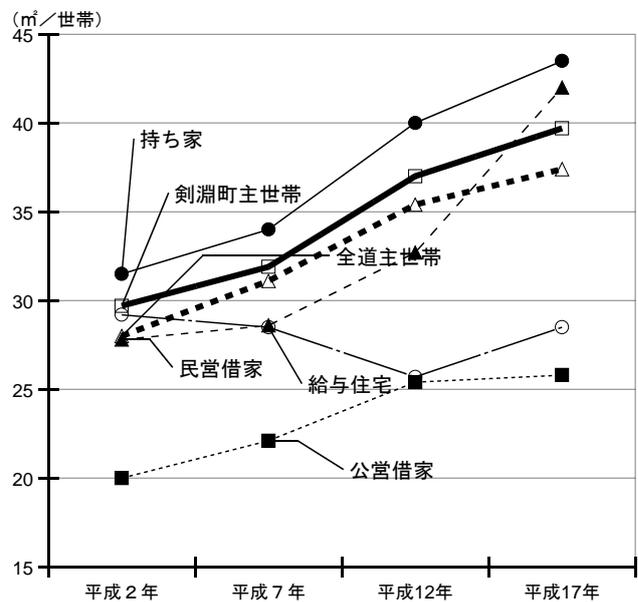
■1世帯あたり面積の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
持ち家	118.5	118.7	128.3	131.6
公営借家	49.8	50.8	53.0	55.4
民営借家	52.7	52.3	75.9	84.1
給与住宅	54.2	72.6	78.1	52.3
剣淵町主世帯	100.5	100.1	107.4	109.0
全道主世帯	77.8	80.6	86.9	87.1

(各年国勢調査)

■1人あたり面積の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
持ち家	31.5	34.0	40.0	43.5
剣淵町主世帯	29.7	31.9	37.0	39.7
全道主世帯	28.0	31.1	35.4	37.4
公営借家	20.0	22.1	25.4	25.8
民営借家	27.8	28.6	32.7	42.0
給与住宅	29.2	28.5	25.7	28.5

(各年国勢調査)

(2) 高齢者の居住状況

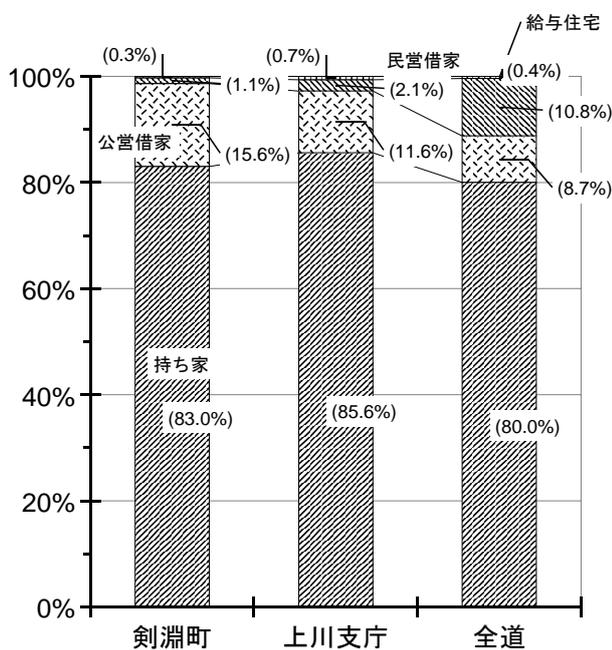
前述の通り平成17年度の国勢調査によると、剣淵町の65歳以上の高齢者率は30.4%、高齢者がいる世帯の比率は55.6%です。

高齢者のいる世帯の居住の状況をみると、以下のように8割が持ち家に住んでいることがわかります。

剣淵町では現在、多様な高齢者福祉サービスを行うほか、公的高齢者介護施設の整備も進められています。しかし、現段階では持ち家に住むお年寄りが年齢を重ね、身体的に従来の住まいでは暮らしにくくなった場合、資金的な面からも持ち家から「住み替え」を行うことは難しい状況にあります。

今後、状況に合わせ気軽に住宅をリフォームしたり、住み替えを行うことのできる仕組みづくりなど、いつまでも安心して剣淵町に住まうことができるための支援システムが必要です。また、これからは高齢単身世帯も増えることが予想されるため、グループホームや生活支援センターなど、お年寄りが暮らす新しい場やサービスの提供などを、今後もより積極的に、続ける必要があります。

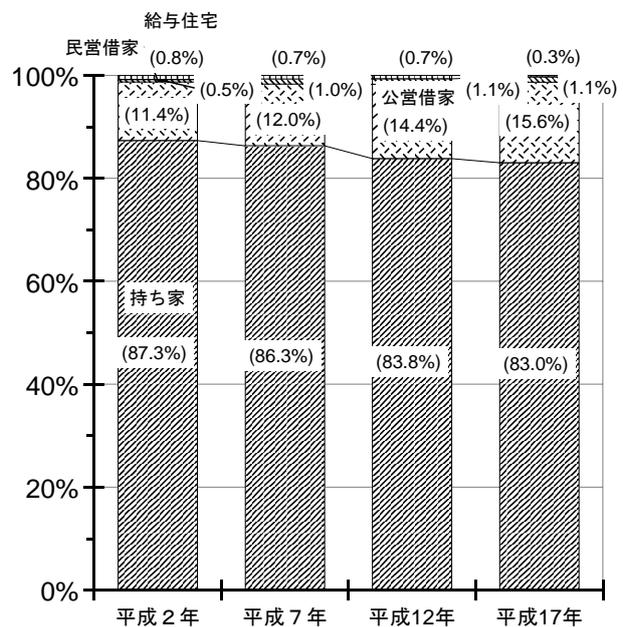
■ 高齢者のいる世帯の所有関係別世帯構成
(剣淵町・上川支庁・全道)



	剣淵町	上川支庁	全道
持ち家	617	15,272	625,011
公営借家	116	2,076	68,274
民営借家	8	378	84,423
給与住宅	2	117	3,224
主世帯	743	17,843	780,905

(平成17年度国勢調査)

■ 剣淵町の高齢者のいる世帯の住宅状況の推移



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
持ち家	538	599	628	617
公営借家	70	83	108	116
民営借家	3	7	8	8
給与住宅	5	5	5	2

(各年国勢調査)